



# 小倉南区親子ふれあいルーム さざん・ニュース

「さざん」はルームの愛称です

169号 2024年2月25日発行

所在地 〒802-0816

小倉南区若園五丁目1番5号

小倉南生涯学習センター1階

発行者 コラボキャンパスネットワーク

親子ふれあいルーム実行委員会

連絡先 TEL&FAX 093-922-5036



3月企画  
のお知らせ



## 親子で楽しむ絵本の世界 ～届けよう絵本のパワー～

「どんな絵本を選べばいいの?」「どんな風に読んであげたらいいの?」  
と思うことがあったら、どうぞご参加ください!!

読み聞かせのこと、おすすめの絵本のことなど、いろいろかがいます。



講師:池田 佐輪子さん

西南女学院大学短期大学部保育科講師  
子ども文化や乳児保育の科目を担当  
保育所で25年間勤務

日時:3月12日(火) 13:30~14:30

会場:小倉南生涯学習センター3階 第1和室

定員:8組(先着順・要予約)

参加費:無料

申込:2月27日(火) 10:00~ 来所または電話で

企画開催時間中は、  
遊びたくなった  
子どもの見守りがあります。  
(託児ではありません)

グランマDAY

とコラボ

13:00~15:00

【グランマDAY】は、祖父母世代が若い世代と交流しながら「昔遊び」「暮らしや子育ての知恵」などを伝えたいという、多世代交流企画です。「高齢社会をよくなる北九州女性の会」のメンバーにより奇数月に開催しています。

赤ちゃんのシェアスタートプログラム

### はじめての絵本

絵本の読み聞かせは、赤ちゃんの心と言葉を育てます。  
(保護者向けのお話です)

3月4日(月) 14:00~14:40

会場:さざん

参加費:無料

定員:5組(先着順・要予約)

対象:おおむね1歳未満の子どもの保護者

申込:受付中 10:00~ 来所または電話で



さざん協力事業

### パパと子のふれあい遊び

3月16日(土) 10:30~11:30

会場:小倉南生涯学習センター 3階和室



詳細はこちらを  
ご覧ください

わらべうたであそぼう!

3月21日(木) 14:00~

申込:不要



妊婦さんの交流会

### とことこ(初産婦さん対象)

助産師のママといっしょに、出産や、出産後の生活で、不安なこと、ききたいこと、なんでもおしゃべりできる時間です。どうぞ、気軽にお申込みください

3月16日(土) 10:15~11:15

進行役:中武 友恵さん(助産師・子育て中のママ)

定員:4組(先着順・要予約)

(ママだけ、パパだけでも参加できます)

申込:随時受付 来所または電話で



## さざんの相談事業

子育てハテナタイム

3月7日(木) 10:00~12:00

子どもの行動でわからないことがあったら、  
どうぞ気軽に北九州市立大学・税田慶昭先生  
(発達心理学・臨床心理士)にご相談ください。

\*定員 4組

\*定員に達していない場合は、当日申込で  
OKです。

保育サービスコンシェルジュinさざん

3月19日(火) 14:00~15:00

\*原則第3火曜日

\*定員 5組

\*気軽に幼稚園、保育園のことを聞いて  
みませんか?

保育士の出張相談

3月13日(水)

10:00~12:00/13:00~15:00

\*相談時間は1人30分程度

\*予約優先

子どもと遊びながら、気軽に相談してみませんか?  
予約随時受付 来所、または電話で!

ここで出会う ここでわかちあおう さざん

小倉南区親子ふれあいルーム「さざん」は、  
おおむね3歳未満の乳幼児親子の交流の場です



\*利用料金:無料 \*開所時間:10:00~16:00

\*開所日:月~金曜日(第1・3水曜日は除く)第1・3土曜日

\*休所日:第1・3水曜日、土曜日(第1・3は除く)日曜日・祝日・年末年始

【天候によっては、急な休所になることがあります お出かけ前にInstagram・HP等をご確認ください】



「メディアの影響ってなあに??  
～家族で考える乳幼児期・学童期・思春期のつきあい方～」

1月20日(土)  
講師：古野陽一さん(子どもとメディア常務理事)

パパ優先企画で、夫婦や家族での参加が多く賑やかに始まりました。会場は広い和室で、一緒に参加している子どもたちは動き回ったり、子ども同士でおもちゃをめぐってのやりとりがあったり…。その姿を見ながら、古野さんは「自由に遊ばせてあげましょう。それが必要なのです」と解説をいれながら話され、大人がどう関わるのが良いのかを具体的に教えて下さいました。

後半は参加者からの「食事中に見たがるのをどうしたらよいか」「きょうだい育児をしていて困っていること」「TV電話は影響があるのか」などの相談や質問の時間がありました。一つずつ丁寧な応答に、安心したり夫婦で確認し合ったりする姿が印象的でした。(スタッフM)



【古野さんからの話をいくつか紹介します】

★視力への影響

強い光の刺激は近視・斜視・左右の視力差など目に与えるダメージが大きく、ブルーライトの光は眠気がこなくなり生活リズムの崩れにつながる。スマホは画面が小さく距離も近いため特に注意が必要!

★子どもへの関わり

夢中になって遊んでいるときは声をかけず見守ってあげましょう。子どもの様子をじっくり見て、何を感じているか、考えているかを想像してみましょう。

あかちゃんは「放牧」。できるだけ床で過ごし、求められたときに抱っこ。床におかれて自分で動いているときに運動能力や学習意欲が育ちます!

幼児期・学童期は「野に放て!」。外遊びが最高に脳と体を育てる。泣く、暴れる、大騒ぎ…は子どもに必要なこと。思いっきりあかちゃんが泣ける、子どもが走り回れる社会にしよう!

★いつからはじめる?

メディア接触は言葉がわかるようになるまでは教育的な意味はなく、2歳くらいから理解し始めるのでその頃を目安にしましょう。時間や画面との距離、内容などに気をつけて。約束事は親子で話して決めましょう(親が勝手に決めてしまわないでね!)。使いたがったり、取り上げるといやがったり…と依存傾向があることを大人が理解した上で、各家庭にあったメディアとのつきあい方を考えてみましょう。

★ひとりで子育てしないで~!!

子育ての「わからない」をスマホの検索に頼ってばかりいると「人に頼らない子育て」になってしまう…。情報過多で何を信じて良いか分からず、調べるだけで長時間になりがち。もし検索する場合は正しい情報源のサイトやアプリだけにするなど、自分の検索のルールを決めるのがオススメです!検索するより「人に聞く!頼る!」を大事にしましょう。

相談した相手はあなたを助けてくれる人になり、子どもにとっても出かけることはたくさんの人、場所、モノに出会う機会になります。ひとりで悩まず、困ったことがあればさざんに遊びに来てスタッフに声をかけてくださいね!

参加者(パパ)の感想

- ・メディアに対してどこまでOKなのか、ダメな場合の対処法などを聞いてよかったです。子どもの成長によって状況が変わるので勉強になりました。今日から子どもの関わり方も含めて考えてみます!
- ・メディアリテラシーの話がとても印象に残りました。親のスマホを何気なく子どもに使わせていたので(写真を見せる、カメラを使わせる等で)、気を付けたいと思います。

グランマの感想(当日はグランマの見守りがありました)

- ・今の子育ての悩みは私たちの時よりはるかに大変ですね。しかしご夫婦揃って意見を出し合う姿は頼もしい限りです。

「鬼さんがやってくる」2月2日(金)



最新情報はホームページ&SNSにて発信中!



ホームページ



インスタ

\*企画の様子や「さざん」の最新情報をお届けしています。  
\*北九州市立大学のHP、地域貢献のページで、さざんニュースのバックナンバーもご覧いただけます。

土曜開所日 3月2日・16日

水曜休所日 3月6日・20日(祝)